



校報 ひたみちっ子

校訓

「強く 賢く 美しく」

浜坂南小学校第25号

令和5年8月9日

充実した夏休みに… ～「全校登校日」～

早いもので夏休みも前半が終わりました。今日は「全校登校日」で、久しぶりに子どもたちの元気な顔を見ることができました。ご家庭でのご指導、ご協力、ありがとうございます。

毎日、暑い日が続き、熱中症等も心配されます。こまめな水分補給やエアコンの適切な利用、危険が予想される時は家の中で過ごす等、熱中症にならないよう、気を付けてお過ごしください。

夏休み後半も安全・安心で、中身のいっぱい詰まった楽しく充実した休みになりますように…。よろしく願いいたします。



親子のコミュニケーション ～「PTCA教育講演会」で～

7月26日(水)夢ホールで「PTCA教育講演会」が開催されました。私もスタッフとして、参加しました。

今回は、「わが子が勉強好きになる『親子のコミュニケーション』」と題して、学習塾「個別指導ネイバー」代表・NLPマスタープラクティショナーの「立田 奨(たつた しょう)」さんの講演が行われました。その中で、大切なことをたくさん学ばせていただきました。いくつかご紹介します。

コミュニケーションの大前提は、

子どもの「自己肯定感」(=ありのままの自分を肯定する、認める感覚のこと)を育むこと。

※こんな行動で子どもの心を傷つけていませんか？

<思わず子どもを傷つけてしまう親の行動>

- ① 一方的に怒りをぶつける。
- ② 問い詰める(詰問する)。
- ③ 他人と比較する。
- ④ 子どもの現在を否定する。
- ⑤ アドバイスする。(意見を押し付ける。)
- ⑥ 無視する。

<親の役割>

親=立+木+見

解釈1 子どもに仰ぎ見られる存在。

解釈2 子どもの成長を見届ける。

仰ぎ見られ、成長を見届ける。

<子どもの気持ちを味方につける6つの秘訣>

- ① がんばっているね。(「がんばってね。」ではなく…)
- ② ○○がよくできているね。
- ③ 子どもの話をちゃんと聴く。
- ④ 「ごめんなさい。」が言える親になる。
- ⑤ 十分甘えさせる。
- ⑥ 「ありがとう。」をどんどん使う。



私も、自分自身を振り返って、反省することもたくさんありました。特に「子どもの気持ちを味方につける6つの秘訣」については、すぐに実行したいと思いました。保護者の皆様も、もう既に実践されている方もあるかとは思いますが、ぜひ参考にさせていただければと思います。

自分の事として考える… ～「人権を考えるつどい」で～

8月5日(土)、夢ホールで「新温泉町人権を考えるつどい」が開催されました。

初めに「差別をなくし人権文化をすすめる」標語・ポスター優秀賞作品の表彰式が行われました。その後、令和4年度全国中学校人権作文コンテスト兵庫県大会最優秀賞受賞者の作文発表が行われました。

そして、今回は講演会ではなく、映画「破戒(はかい)」の上映会が行われました。この映画は、島崎藤村(しまざきとうそん)原作の「破戒」を映画化したものです。

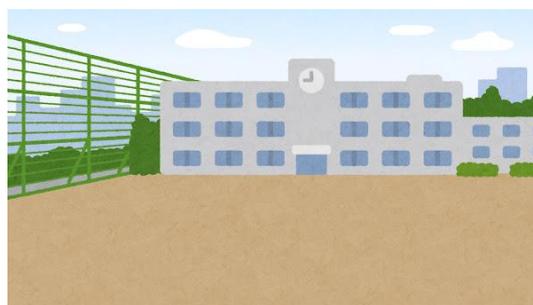
地元を離れ小学校の教員となった丑松(うしまつ)。被差別部落出身という自らの出自を隠していることへの苦悩、士族出身の女性・志保(しほ)への恋、差別の現状に対する葛藤…。

「なぜ自分の故郷を語れない。」

「なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。」

「人間はみな等しく尊厳を持つものだ。」

苦しみの中、一つの事件がきっかけとなり、丑松(うしまつ)はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立ちとうとします…。



上映時間119分の長い映画でしたが、集中して見ていたためか、あっという間に時間がたったように感じました。差別の問題を単に知識として理解するのではなく、自分自身の事として考えることが必要だと思います。

新温泉町は、「人権啓発推進条例」制定の町です。差別のない、みんなの命や人権が大切にされるような町にしていきたい…改めてその思いを心に刻むことができました。